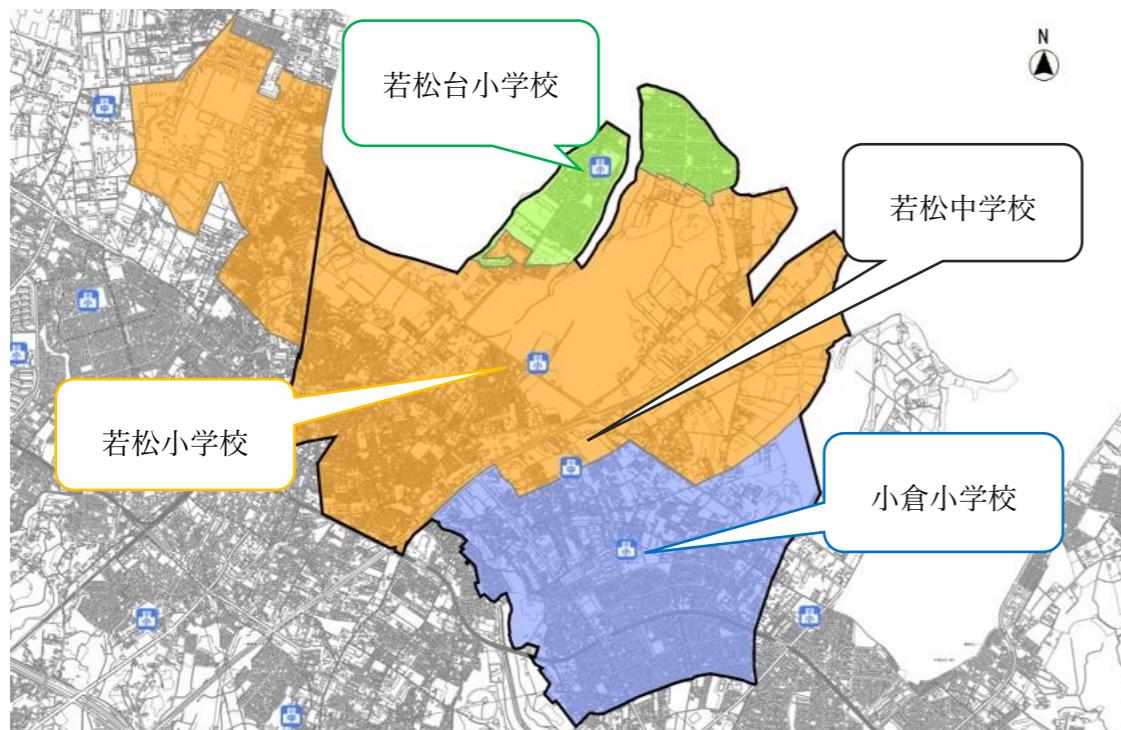


学校規模適正化の必要性について

若松台小学校の適正規模・適正配置に係る基礎資料（児童数等）
「第3次千葉市学校適正規模・適正配置実施方針」説明資料

資料 2

(1) 若松台小学校及び近隣小中学校の学区



(3) 若松中学校区の児童生徒数の推移について

学校名	令和7年度 (5月1日現在)					令和13年度 (令和7年度算出推計)		
	児童生徒数			学級数		優先度	児童生徒数	学級数
	全校	通常	特支	通常	特支			
若松台小学校	95	91	4	6	2	I	42	5
若松小学校	583	566	17	18	3	—	549	19
小倉小学校	766	759	7	25	2	—	702	22
若松中学校	675	662	13	18	2	—	628	20

※令和13年度は推計のため特別支援学級を除く

【参考：学校規模の基準】

《大規模校》

小学校：全体で25学級以上
中学校：全体で25学級以上

《適正規模校》

小学校：各学年2学級以上、全体で12学級以上24学級以下
中学校：各学年4学級以上、全体で12学級以上24学級以下

《準適正規模校》

中学校のみ：各学年3学級以上、全体で9学級以上11学級以下

《小規模校》

小学校：全体で11学級以下
中学校：全体で11学級以下

【例】

- ・いくつかの学年で単学級が存在
- ・6学年すべて単学級
- ・いくつかの学年で複式学級が存在

※小規模校のうち、学級数や児童生徒数によって適正配置に係る取組みの優先度を区分し、取組みを進める上での判断材料とします。

優先度（重要性・緊急性）

優先度（重要性・緊急性）		
高い	↓	低い
I	II	III
小：6学級以下(120人未満) 中：5学級以下	小：6～11学級(240人未満) 中：6～8学級	小：6～11学級(240人以上) 中：9～11学級(各学年3学級以上)

(2) 若松中学校区内の小学校について

	若松台小学校	若松小学校	小倉小学校
開校年度	昭和54年度	昭和22年度	昭和41年度
敷地面積	16,611m ²	21,335m ²	19,793m ²
校舎面積	5,280m ²	6,859m ²	5,423m ²
体育館面積	748m ²	800m ²	776m ²
運動場面積	7,520m ²	10,203m ²	11,869m ²
利用可能教室	17教室	27教室	28教室
通常学級数	6学級	18学級	25学級
特別支援学級数	2学級	3学級	2学級
通学区	若松台1丁目、2丁目、3丁目 若松町の一部、四街道市めいわ5丁目	若松町、若松台3丁目の一部 都賀3丁目の一部、桜木北1丁目の一部 及び桜木北2・3丁目	小倉台1～7丁目、小倉町、若松町 の一部、桜木北1丁目の一部
中学校区	若松中学校		
放課後施策	アフタースクール (令和元年度導入)	アフタースクール (令和6年度導入)	子どもルーム (令和10年度AS導入予定)
避難所	避難所指定あり	避難所指定あり	避難所指定あり
その他 (諸施設等)	教育支援センター（ライトボート若葉） 平成16年設置	なし	LD等通級指導教室

(4) 若松台小学校の児童数・学級数について

①令和7年5月1日時点

児童数 95人 (通常学級91人 特別支援学級4人)

学級数 8学級 (通常学級6学級 特別支援学級2学級)

②令和7年度以降児童数・学級数推計 (特別支援学級除く)

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
児童数	91 (6)	78 (6)	74 (6)	70 (6)	61 (6)	55 (5)	42 (5)
6年生	22 (1)	13 (1)	14 (1)	12 (1)	15 (1)	15 (1)	9 (1)
5年生	13 (1)	14 (1)	12 (1)	15 (1)	15 (1)	9 (1)	9 (1)
4年生	14 (1)	12 (1)	15 (1)	15 (1)	9 (1)	9 (1)	10 (1)
3年生	12 (1)	15 (1)	15 (1)	9 (1)	9 (1)	10 (0.5)	3 (0.5)
2年生	15 (1)	15 (1)	9 (1)	9 (1)	10 (1)	3 (0.5)	9 (0.5)
1年生	15 (1)	9 (1)	9 (1)	10 (1)	3 (1)	9 (1)	2 (1)

... 令和11年度入学児童数3名

令和13年度入学児童数2名の見込み

令和12年度及び令和13年度に※複式学級の可能性

小学校では、複数学年で16人以下（小学1年を含む場合8人以下）

<公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律3条>

(5) 若松台小学校に係る学校適正規模・適正配置の取組みについて

①保護者全体・PTA本部への取組み

・学校訪問、PTA本部役員会訪問 (R6.4/16)

・保護者全体説明会 (R6.4/22)

・PTA実施アンケート企画課回答 (R6.7/2、R6.9/30)

・PTA本部役員会訪問 (R6.6/8、R6.9/10、R7.1/14、R7.2/7)

・保護者との意見交換会 (R6.10/9、R6.10/21、R6.10/25)

・就学時健診訪問 (R6.11/7)

・PTA実施「適正規模・適正配置に係るアンケート」企画課回答 (R7.1/31)

②地域等状況説明

・若松台小学校学校評議員会訪問 (R6.6/8、R7.2/28)

・若松中学校区管理職訪問

若松中学校 (R6.5/21)、若松小学校 (R6.4/30)、小倉小学校 (R6.4/30)

・地域説明

若松中学校区青少年育成委員会 会長及び顧問訪問 (R6.10/9)

若松地区連絡協議会 会長訪問 (R6.10/10)

若竹保育園訪問 (R6.10/24)

若松台幼稚園訪問 (R6.10/24)

③地元説明会開催に向けた取組み

・PTA本部役員会訪問 (R7.2/7)

・若松台小学校地区自治会長訪問 (R7.2/28)

・若松中学校区保護者および地元代表訪問 (R7.3/24~)

・若竹保育園訪問 (R7.4/14)

・若松台幼稚園訪問 (R7.4/16)

・地元説明会 (R7.4/19)

④地元代表協議会に向けた取組み

・若松中学校区管理職訪問 (R7.9/4~)

・若松中学校区地元代表訪問 (R7.9/8~)

・若松中学校区保護者代表訪問 (R7.9/12~)

(6) 小規模校で見られる特徴

小規模校で見られる特徴

小規模校のよいところ

多くなる発表の機会や活躍の場

- ▶運動会などの行事や、児童会・生徒会、委員会活動などで発言や活動する機会が多くなり、活躍の場面が増えます。
- ▶学習活動でも学校の代表として発表する場面が多くなります。

設備や教材の十分な活用

- ▶理科の実験器具や音楽の楽器など、教材・教具を児童生徒一人ひとりが十分に使用することができます。
- ▶体育館やプール、校庭などを広く使うことができます。
- ▶余裕教室を活用し、様々な学習活動を展開することができます。

その一方で...

小規模校の悩み



学校行事

- ▶学校行事の規模が小さくなり、内容に制約が出てくることがあるため、児童生徒の活動内容や実施方法を工夫する必要があります。
- ▶個々の児童生徒の活動場面が多いことから、充実した活動となる反面、準備や後片付け等の負担が大きくなります。

多様な考え方を身に付ける機会

- ▶学級の人数が少ないので、多様な意見を聞いて自分の考えを深める学習や、挑戦し合う活動が少なくなる場合があります。

人間関係づくり

- ▶学級の人数が少ない、クラス替えが無い環境では、人間関係や役割分担が固定化される傾向があります。
- ▶友人関係でのトラブルを起こさないように気を遣うため、児童生徒にとっては、自分の意見が言いづらいことがあります。

部活動や特設クラブ

- ▶チーム編成に必要な人数を満たすことが難しいことがあります。
- ▶単独での大会参加ができないことがあります。
- ▶他の中学校との合同チームで活動する場合、練習時間や活動場所の調整等の課題があります。

参考 少人数指導は小規模校だけの特徴？

小規模校は学級数が少ないので、学級数に応じて教職員の配置も少なくなります。

少人数指導は、きめ細かな指導をするために、学級を2つや3つに分けて、集団人数を少なくして指導する学習形態で、大規模校でも行われています。